

学科名	学年	授業のタイトル（科目名）	
工業専門課程 デジタルクリエイター科	1 年	演習Ⅰ（情報処理システム概論）	
授業の種類	授業担当者	実務経験	
☒ 講義 ☒ 演習 ☐ 実習	伊勢本 勝一	☒ 有 ☐ 無	
[実務経験歴]			
・ IT系企業において約30年間、SEとして担当～マネージャに従事 ・ 主に保険会社の業務システムにおいて、要求分析～システム提案、要件定義～導入、保守を担当 ・ データベース設計～構築、サーバサイドAP開発～テスト、UNIX系OSのサーバ構築を実施 ・ 業務改革の要求分析～コンサルテーションを実施			
単位数（授業の回数）	時間数☒	配当時期	必修・選択
2 単位 （ 30 回 ）	60 時間	☐ 前期 ☐ 後期 ☒ 通年	☐ 必修 ☒ 選択
[授業の目的・ねらい]			
・ 基本情報処理技術者試験におけるテクノロジー系の大分類3「技術要素」/大分類4「開発技術」の分野及びストラジ系の大分類7「システム戦略」について理解する			
[授業全体の内容の概要]			
・ 情報処理システム（「ITワールド」第二部） ・ 情報システム戦略（「IT戦略とマネジメント」第三部） ・ 開発技術（「IT戦略とマネジメント」第四部）			
[授業終了時の達成課題(到達目標)]			
基本情報処理技術者試験のテクノロジー系「技術要素」「開発技術」及びストラジ系「システム戦略」の問題が解けること			
[準備学習の具体的な内容]			
予習：テキストの次回学習予定箇所を読んでおく			
復習：授業中登場したキーワードについて、自分なりの説明文を書く			
問題の反復練習を行う			
[使用テキスト]		[単位認定の方法及び評価の基準]	
使用テキスト		定期試験と出席日数の両方が次の規定に達した場合に認定する。	
ITワールド(インフォテックサーブ)		・試験の点数は60点以上を合格点とする。	
IT戦略とマネジメント(インフォテックサーブ)		・全出席日数の4分の3以上の出席が必要。	
参考文献		評価基準	
必要に応じて授業の中で紹介する。		定期試験80%、平常点（出席、講義の参加度）20%とする。	
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1回	オリエンテーション， イントロダクション		
2回	情報処理システムの処理形態		
3回	高信頼化システムの構成 1		
4回	高信頼化システムの構成 2		
5回	情報処理システムの評価（処理能力の評価）		

6回	情報処理システムの評価（信頼性の評価）
7回	情報処理システムの評価（演習）
8回	まとめと振り返り
9回	情報処理システムの評価（経済性の評価）， ヒューマンインタフェース
10回	ヒューマンインタフェース
11回	マルチメディア（～音声処理）
12回	マルチメディア（静止画処理， 動画処理）
13回	マルチメディア（情報の圧縮・伸張， 応用）
14回	マルチメディア（演習）
15回	まとめと振り返り
16回	情報処理システム戦略の概要 1
17回	情報処理システム戦略の概要 2， 業務プロセスとソリューションビジネス
18回	情報システム企画
19回	情報システム戦略（演習）
20回	システム開発技術 1
21回	システム開発技術 2
22回	まとめと振り返り
23回	システム開発技術 3
24回	ソフトウェア開発技術 1
25回	ソフトウェア開発技術 2
26回	ソフトウェア開発技術 3
27回	システム開発環境 1
28回	システム開発環境 2
29回	Webアプリケーション開発
30回	まとめと振り返り